

三高・大須～宇品航路の現状について

1 趣旨

平成21年9月7日に中国運輸局から県を通じて「三高・大須～宇品」航路のサービス基準を見直すことについて意見照会があった。この件についてのこれまでの経緯、現状等について報告する。

2 経緯

日 時	内 容
H21. 9. 7	中国運輸局から県知事あてに「サービス基準」見直しについて意見照会（三高～宇品13便→11便，大須～宇品6便→5便）
H21. 9. 7	県企画振興局から江田島市あてに同内容についての意見照会
H21. 9. 11	回答案等について議会全員協議会で説明
H21. 9. 14	江田島市から県へ「サービス基準」は公共交通協議会で航路の再編の方向性が定まるまでは，現状維持が望ましい旨回答
H21. 9. 14	県から中国運輸局へ地元自治体の意向を考慮していただきたい旨回答
H21. 9. 24	中国運輸局から江田島市へ報告あり 地元自治体からの現状維持の回答を踏まえ，中国運輸局から芸備商船株へ「サービス基準」を落とすことはできない旨回答し，社内で検討するよう指示

3 現状（当面の課題）

芸備商船株が中国運輸局に対し，どのような回答をするかによって対応が変わってくる。

公共交通協議会での方向性が出るまで，現状（三高16便，大須6便）のまま継続されるか，あるいはすぐに減便（三高13便）される可能性がある。

市としては，協議会において三高港へのフェリー一元化について協議し，時期の前倒しについても検討を行う。

【協議会での意見から】

「三高港へのフェリー一元化」については，今回の協議会の中での意見により，西能美航路全体の再編について協議を進めていく中で検討していくこととする。